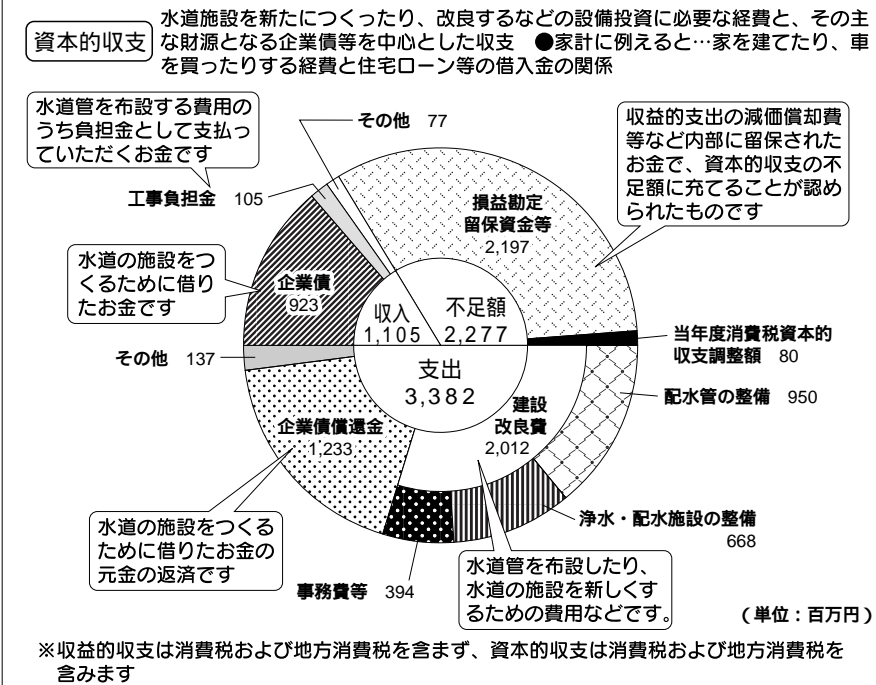
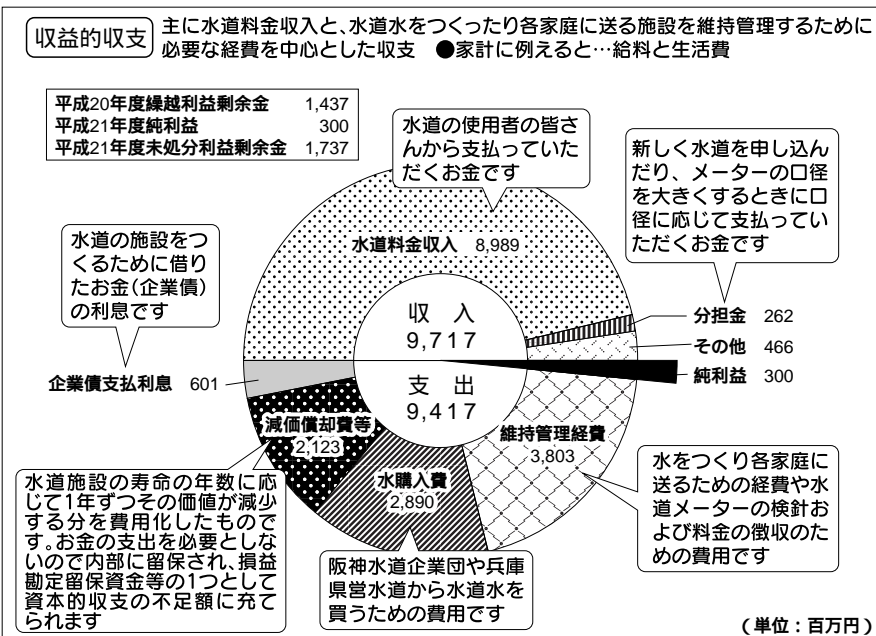


平成21年度水道事業会計決算の概要

健全経営に努め 安定給水のための事業を実施

平成21年度水道事業会計決算が9月市議会において認定されました。この決算の概要についてお知らせします。問合せは水道局財務グループ(0798・32・2211)へ。

平成21年度決算の状況



経営環境

平成21年度末の給水人口は48万788人で、前年度より1728人(0.4%)増えています。また、給水戸数も22万341戸で、前年度より1500戸(0.7%)増加しました。年間の給水量は5353万7867立方メートルで、前年度より9万5813立方メートル(0.2%)増加しました。

決算の概要

収益的収支(水道水を供給するための営業活動の収支)のうち、収入は、水道料金収入が1500万円減収するなどにより、前年度に比べて4400万円の減収になりました。支出は、人件費の削減や企業債支払利息の減などにより、前年度に比べて5700万円の減少になりました。

近年、給水人口・給水戸数は増加傾向にあります。しかし、水道料金収入の基礎となる給水量は横ばいになっています。これは、家庭での節水意識の定着に加え、節水型のトイレ・電化製品の普及により、1戸あたりの使用量が減少傾向にあること、また、工場など大口利用者が経費節減等を目的に水を再利用したり、地下水等を利用する事例もあることが要因と考えられます。

その結果、21年度の決算は収入総額97億1700万円に対し、支出総額は94億1700万円、差引き3億円の純利益になりました。また、21年度末の累積黒字(未処分利益剰余金)は17億3700万円になりました(左グラフ参照)。

合関連事業に着手するなど、建設改良費が前年度より増加しました。実施した事業の内容は、南部地域では、鳴尾浄水場の過設備の改良をしました。北部地域では、丸山浄水場にある配水の流量等を監視および制御する装置の機能を増設したほか、同浄水場の配水池へ防雷システムを設置するなどしました。

配水管から家庭に引き込む給水装置 工事は指定された業者へ

水道局が管理する配水管から皆さんの家庭に引き込んでいる配水管を給水管といいますが、この給水管から蛇口までを給水装置といいますが、水道局の水道メーターを除き、皆さんの所有物になります。給水装置の工事は、パッキンの取り替えなど軽微なものを除き、水道局または指定の給水装置工事業者が行わなければなりません。

指定の給水装置工事業者の一覧は、給水装置課の窓口や水に供給していくため、阪神水道企業団から購入する高度浄水処理水の増量、老朽化した水道管の耐震化および浄水場等の統廃合関連工事などの事業を進めていく必要があります。



老朽化のため来年3月に処理停止する鯨池浄水場

鯨池浄水場は来年3月に処理停止 南部の9割は高度処理水に

本市では、現在市内に4つある浄水場を、南部地域の鳴尾浄水場と北部地域の丸山浄水場の2つに統廃合する取り組みを進めており、越水浄水場は今年3月に浄水処理を停止しました。また、鯨池浄水場も来年3月に浄水処理を停止するため、同浄水場から供給している地域については、阪神水道企業団からの高度浄水処理水の供給へ切り替えます。

《切替工事へのご理解を》
鯨池浄水場は、河川水(淀川と武庫川)・井戸水・わき水を水源としており、主に阪急電鉄の神戸線以北・今津線以東の地域に配水している市内最大の浄水場です。昭和39年に稼動した同浄水場は老朽化が進んでおり、まもなく更新時期を迎えます。将来にわたって、より安全な水

道水を安定して供給していくためには、更新工事に加えて高度浄水処理施設の導入が必要でした。しかし、阪神水道企業団からの高度浄水処理水を増量することが可能になったことで、同浄水場での浄水処理を停止することにしました。

これにより、南部地域では約9割が阪神水道企業団からの高度浄水処理水となり、残りの約1割は良質な地下水を水源としている鳴尾浄水場で浄水処理した水道水となります。

なお、浄水処理を停止する際は切替工事を行います。工事による影響が生じるおそれがある場合は、あらかじめお知らせします。ご理解とご協力をお願いします。

問合せは水道局配水課(0798・32・2217)へ。

阪神米穀のお米

■本社 TEL.0798(26)0221(代表)
■http://www.ebessan.jp

Q. お鍋でもごはんが炊けるの?
A. ふたが重い厚手の土鍋などでも、ごはんが炊けます。沸とうまでは、中火~強火で、ふたの周りから吹き上がってきたら中火で7~8分、さらに弱火で15分程煮たら火を止め、5~10分蒸してできあがり。

【阪神米穀は「おいしいごはんを食べよう県民・国民運動」を応援しています。】